

目次

◆巻頭言 建設の機械化と先端技術宮原克典 / 1

中小水力導水路トンネルの高速化掘削の施工植木重明 / 3

立て型シールド工法の開発と施工竹谷清 / 11
小坂仁左衛門

レジシモルタル吹付工法の開発と施工阪本修 / 17
——ショットレム工法 渡辺正研

八久和貯水池堆砂対策「グラブ浚渫・加水スラリー輸送システム」について上田亨三郎 / 22
浜松宏夫 田本民夫

水圧鉄管内部点検ロボットの開発宮白永毛 晴男 / 30
成瀬俊利 久幸樹

捨石ならしロボットの開発成沢飯本 田間慎和 / 35

パキスタンの道路事情高島一彦 / 41

◆随想 職人に学んだ手作り映画堤哲朗 / 46

建設機械の自動化等に伴う安全対策についての調査研究労働省労働基準局安全衛生部安全課 / 48

昭和61年度 建設機械展示会 “86メカトピア九州” 見聞記橋元和男 / 52

グラビヤ——昭和61年度 建設機械展示会 “86メカトピア九州”

昭和61年度 建設機械と施工法シンポジウム鹿野浩利 / 55

◆新工法紹介
流体輸送式TBM工法 / メカニカルメッセル工法 /調査部会 / 59
立坑のシールド発進、致達口鋼壁工法

◆新機種ニュース調査部会 / 62

◆文献調査
新しい型枠システムの開発 / ノルウェーの無普請トンネルで活躍する機械式こそく装置 / コンクリート橋梁用鉄筋に替わるグラスファイバ / SEP社がバリザールの製作を開始文献調査委員会 / 67

◆ISO規格紹介
土工機械に関するISO規格(20)ISO部会 / 71

◆整備技術
新しい診断・再生技術(第1回)整備部会 / 78
油圧ポンプ故障診断装置

◆建設機械化研究所抄報 <<145>>
397. サカイ SV 70 型振動ローラ / 82
398. サカイ SV 91 型振動ローラ / 82
399. サカイ TS 290 型タイヤローラ / 83
ROPS 静載荷試験 / 84

◆統計
建設工事受注額・建設機械受注額の推移調査部会 / 86

行事一覧 / 87

編集後記(堀口・福来) / 90

◀表紙写真説明▶

トラッククレーン TG-1800 M

株式会社 多田野鉄工所

本機は160t×3.3m、58t×10mのつり上げ性能を有する分解・台車方式(公道走行時)の超大型トラッククレーンである。

① ブームホルダスライド方式を採用。高揚程作業時はホルダでベースブームを前方にスライドさせ17.5~50mブームとし、また広い作業半径を必要とする時は、後方にスライドさせ12.5~45mブームとして使用することにより半径作業と重量物高揚程作業を両立させた。

② 38m無段階チルトのラフィングジブ(オプション)を装着することにより、最大作業半径48m、最高地上揚程80mと広範囲の作業に威力を発揮する。

③ 分解作業はタダノ独自のホルダ方式と油圧バイオネット方式により短時間、少人数で、しかも他のクレーンを使用することなく自力で行える。

◀主な仕様▶

クレーン容量160,000 kg×3.3m (20本掛)
最大地上揚程	ブーム.....51.0m
	ジブ.....78.0m
最大作業半径	ブーム.....44.0m
	ジブ.....62.0m
エンジン最高出力250 PS/1,800 rpm